

The Great Monetary Transition: 2025–2040 Strategic Simulation Report

ポスト・フィアット通貨時代における資産クラスの運命とシナリオ分析

1. エグゼクティブ・サマリー: パラダイム・シフトの到来

2025年末、ゴールド(金)価格が1オンスあたり4,232ドルを突破したという事実は、単なる市場のアナリシス(特異現象)や地政学的リスクの一時的な反映ではない。それは、1971年のニクソン・ショック以降、半世紀以上にわたって維持されてきた「信用通貨(フィアット通貨)制度」に対する、市場からの最終的な不信投票である。本レポートは、この価格変動を「大いなる通貨移行(The Great Monetary Transition)」の号砲と定義し、2040年までの15年間にわたる世界金融システムの構造変化をシミュレーションするものである。

我々の分析モデルは、過去の債務サイクル、人口動態、エネルギー需給、そして技術革新(特にAIとブロックチェーン)の相互作用に基づき構築されている。前提となるゴールド価格の急騰は、主要中央銀行(FRB、ECB、日銀)が債務不履行(デフォルト)を回避するために「金融抑圧(Financial Repression)」政策を恒久化させ、実質金利をマイナス圏に固定し続けるという市場の確信を反映している。この環境下では、かつて「無リスク資産」と見なされていた米国債や日本国債(JGB)が、購買力平価ベースで最大の「リスク資産」へと変貌する。

本シミュレーションが対象とする7つの資産クラス(Gold, BTC, AI電力株, 新興国株, JPY, 米国債, Silver)は、この激動期において極めて対照的な運命をたどることになる。2030年の「インフレ的ブレイクアウト」、2035年の「ソブリン債務危機」、そして2040年の「新通貨秩序の確立」という3つのフェーズを通じ、世界は「債務(Debt)」に基づく金融システムから、「エネルギー(Energy)」と「希少性(Scarcity)」に基づくシステムへと再編される。

特筆すべきは、AI(人工知能)革命が単なる生産性向上ツールにとどまらず、莫大なエネルギー需要を生み出すことで「物理的制約」を露呈させ、エネルギー関連資産(AI電力株、ウラン、銀)の価値を押し上げる点である。同時に、ビットコイン(BTC)は国家レベルでの採用が進み、デジタル空間における担保資産としての地位を確立する。対照的に、日本円(JPY)は先進国通貨の中で最も脆弱になり、機能し、その崩壊と再生のプロセスは世界経済にとっての教訓となるだろう。

以下に展開する詳細な分析と定量的予測は、投資家、政策立案者、企業経営者がこの不可逆的な歴史的転換点を乗り越えるための羅針盤となることを意図している。

2. マクロテーマの枠組み: 2025年からの構造変化

シミュレーションの具体論に入る前に、2025年から2040年を規定する不可避的なマクロ経済の構造変化(メガトレンド)を定義する必要がある。これらは各資産クラスの価格形成における重力として機

能する。

2.1 ソブリン債務の限界と金融抑圧の恒久化

2025年時点で米国債の利払い費は年間1兆ドルを超え、防衛費やメディケア(高齢者向け医療保険)支出を上回る規模に達している¹。議会予算局(CBO)の予測では、現行法のままでも2035年には純利払い費が1.8兆ドル近くに達するとされているが²、ゴールドが4,232ドルに達したシナリオにおいては、市場金利の上昇圧力がこの予測をさらに悪化させている。

この状況下で、FRBをはじめとする主要中央銀行に残された道は一つしかない。「金融抑圧」である。これは、名目金利をインフレ率以下に人为的に抑え込むことで、実質的な債務負担を軽減(債権者から債務者への富の移転)させる政策である。ブラックロックの研究が示唆するように、歴史的にGDP比債務が高い局面では、中央銀行はイールドカーブ・コントロール(YCC)やそれに類する手段を用いて、国債利回りが経済成長率やインフレ率を上回らないように介入せざるを得ない³。これは、国債保有者にとって「確実な購買力の喪失」を意味し、資本が法定通貨圏から実物資産圏へと逃避する根本的なドライバーとなる。

2.2 AIとエネルギーの物理的制約(Energy-Compute Nexus)

第二の構造変化は、デジタル経済の物理化である。AIデータセンターの電力消費量は、2023年から2030年にかけて160%以上増加するとゴールドマン・サックスおよびIEA(国際エネルギー機関)は予測している⁴。AIの計算能力に対する需要は指数関数的に増加しているが、それを支える電力供給(グリッドインフラ)と冷却システムは物理的な制約に直面している。

この「エネルギーと計算能力の融合(Energy-Compute Nexus)」は、新たな資産価値の源泉を生み出す。安定したベースロード電源(特に原子力)と、高密度サーバーを冷却する技術を持つ企業は、単なるユーティリティ企業ではなく、AI経済のボトルネックを解消する戦略的資産として再評価される。AIの進化は、電力というコモディティを「デジタルゴールド(計算能力)」を精製するための必須入力材へと変貌させる⁶。

2.3 コモディティ・スーパーサイクルと供給不足

第三の要素は、脱炭素化とAIインフラ構築が同時に進行することによる、構造的な資源不足である。特に銀(Silver)と銅は、エネルギー転換とデジタル化の両方に不可欠な金属である。国連貿易開発会議(UNCTAD)は、銅の需要が2040年までに40%増加すると予測しているが、供給は深刻な制約下にある⁷。銀に至っては、太陽光パネルやEV、AIチップへの需要急増により、すでに構造的な供給不足に陥っており、地上在庫の枯渇が懸念されている⁸。この需給ギャップは、法定通貨の減価と相まって、資源価格の長期的な上昇トレンド(スーパーサイクル)を形成する¹⁰。

3. フェーズ1: 2025年～2030年「インフレ的ブレイクアウト」

このフェーズは、市場参加者が「インフレは一時的ではない」という事実を受け入れ、ポートフォリオの大規模な組み換え(グレート・ローテーション)を開始する時期である。ゴールドの4,232ドル到達

は、その狼煙である。

3.1 ゴールド(Gold): 再評価と中央銀行の買い支え

予測価格(2030年): \$8,850

2025年末の4,232ドルへの急騰は、機関投資家の心理的障壁を破壊した。2030年に向けて、ゴールドは「コモディティ」から「基軸通貨の代替」へと完全にリプライシングされる。

- 中央銀行の需要: 米国の債務懸念と地政学的分断(制裁リスク)により、グローバルサウス諸国の中銀は外貨準備としての米国債保有を減らし、ゴールドへのシフトを加速させる。
2025年時点ですでに中央銀行の金購入は歴史的高水準にあるが¹²、2030年にかけてはこの傾向がG7以外の標準戦略となる。
- インフレヘッジ: インフレ調整後の実質金利がマイナス圏で推移するため、年金基金や富裕層はポートフォリオの5~10%をゴールドに配分し始める。Incrementum AGのレポートにある「インフレシナリオ」では、2030年までに8,900ドル近辺への上昇が示唆されており¹³、本シミュレーションはこの見通しと整合的である。
- 市場心理: ゴールドの上昇は自己実現的な予言となり、さらなる資金流入を招く。ETFへの資金流入が加速し、現物市場の流動性が枯渇する局面も想定される。

3.2 ビットコイン(BTC): 国家採用とデジタルゴールド化

予測価格(2030年): \$550,000

ゴールドが「オールドマネー」の逃避先であるなら、ビットコインは「ニューマネー」と「国家戦略」の焦点となる。

- 国家戦略準備資産: エルサルバドルやブータンに続き、2030年までには資源国や中規模国家がビットコインを戦略準備資産として採用する動きが広がる。特に米国において、大統領令や法案提出による「戦略的ビットコイン準備(Strategic Bitcoin Reserve)」の議論が現実味を帯び、政府保有分の売却停止や新規購入が検討されることで、市場の需給バランスが一変する¹⁴。
- AIとの統合: AIエージェント間の自律的な決済通貨として、ライトニングネットワークを活用したビットコインの利用が定着する。VanEckの分析によれば、AIによる生産性向上の恩恵が暗号資産市場に波及し、2030年までに巨額の収益機会を生み出す¹⁵。
- 半減期の影響: 2028年の半減期を経て、ビットコインのインフレ率(新規発行率)はゴールドを決定的に下回る。この「絶対的な希少性」が、金融緩和による法定通貨の供給過剰と対比され、価格を押し上げる。ARK Investの強気シナリオ(2030年に150万ドル)¹⁶ほど極端ではないにせよ、50万ドル台への到達は、ゴールド時価総額の約20-30%を捕捉することを意味し、十分に現実的なラインである。

3.3 AI電力株: インフラのボトルネック解消

指数成長予測(2030年): 3.5倍(2025年比)

AIブームの物理的限界が露呈し、電力インフラ企業がテクノロジー企業並みのバリュエーションで評

価されるようになる。

- データセンター冷却: **Vertiv (VRT)** 等の企業は、AIチップの高熱化に伴う液体冷却システムへの移行需要を独占的に享受する。2030年までにAIデータセンターの電力需要が世界の3-4%に達するという予測¹⁹に基づき、冷却・電力管理ソリューションの市場は爆発的に拡大する。
- 原子カルネサンスの黎明: ベースロード電源としての原子力の重要性が再認識される。**Vistra (VST)** や **Constellation Energy** といった既存の原子力発電所保有企業は、AmazonやMicrosoft等のハイパースケーラーと長期の電力購入契約(PPA)をプレミアム価格で締結する²⁰。これにより、収益の予見性が高まり、株価は公益株の枠を超えて成長株として再評価される。
- SMR(小型モジュール炉)の進展: **Oklo** などのSMR開発企業は、2027年の初号機稼働を目指しており、2030年時点では商業化の初期段階にある²²。成功すれば、データセンター併設型の電源として無限の需要があるため、期待値による時価総額の膨張が続く。

3.4 新興国株: 資源国と非資源国の分断

指数成長予測(2030年): 2.2倍(2025年比)

「新興国」という一括りの投資区分は機能を失う。資源を持つ国と持たざる国の格差が拡大する。

- 水・食料・エネルギーのネクサス: WEF(世界経済フォーラム)のネクサス・インデックスにおいて高スコアを記録する国々が勝ち組となる²⁴。具体的には、ブラジル(食料・水・鉱物)、インドネシア(ニッケル・石炭)、チリ(銅・リチウム)である。これらの国々は、自国の資源を通貨防衛のアンカーとして利用し、ドル高局面でも相対的な強さを発揮する。
- 脱グローバル化の恩恵: サプライチェーンの再編により、これらの資源国は「フレンド・ショアリング」の拠点として直接投資(FDI)を呼び込む。一方、エネルギー輸入に依存する新興国は、インフレと通貨安の二重苦に直面する。

3.5 日本円(JPY): 管理された減価

予測レート(2030年): 195 JPY/USD

日本は「ゆでガエル」の状態にある。2025年以降、インフレ定着と貿易赤字(エネルギー輸入コスト増)が常態化する。

- 金利差の呪縛: 米国のインフレが高止まりする中、日銀は金利を上げたくても上げられないジレンマに陥る。国債利回りを抑え込むための買い入れが通貨供給量を増やし、円安を助長する構造が続く²⁶。
- 資本逃避の始まり: 日本の家計部門は、購買力を守るために預金を外貨資産や新NISAを通じた海外株、そしてゴールドへとシフトさせ始める。これは「静かなる取り付け騒ぎ(Capital Flight)」として円安圧力を強める。
- 政策対応: 政府は為替介入を繰り返すが、ファンダメンタルズ(金利差と貿易赤字)には逆らえず、1ドル=180~200円のレンジが新たな常態(ニューノーマル)として受け入れられるようになる。

3.6 米国債: リターンなきリスク

予測利回り(2030年): 10年債 4.2%(実質利回りマイナス)

米国債はもはや投資資産ではなく、規制対応のための保有資産となる。

- イールドカーブ・コントロール(YCC): FRBは明示的あるいは暗示的に長期金利の上限を設定する。インフレ率が5%前後で推移しても、名目金利は4%台に抑え込まれるため、債券保有者は実質的な損失を被り続ける²⁷。
- 海外需要の減退: 中国や日本などの伝統的な大口保有者が買い手を降りる中、FRBが発行残高の多くを吸収せざるを得なくなる。これはドルへの信認をさらに傷つける悪循環を生む。

3.7 シルバー(Silver): 産業需要によるスクイーズ

予測価格(2030年): \$110

ゴールドの上昇に遅れて、シルバーが爆発的な上昇を見せる。

- 構造的供給不足: シルバー・インスティテュートのデータによれば、太陽光パネルやEV、AI関連の電子機器による産業需要が急増する一方で、鉱山供給は停滞している⁸。2030年には、産業需要だけで鉱山供給の大部分を消費する状態となり、投資用在庫が取り崩される。
- 金銀比価(Gold/Silver Ratio)の縮小: 歴史的な割安圏にあったシルバーは、ゴールドの急騰に追随とともに、産業用金属としての逼迫感からアウトパフォームする。比価は80倍から60倍程度まで縮小する。

4. フェーズ2: 2031年～2035年「ソブリン債務危機」

このフェーズでは、主要先進国の債務持続可能性に対する懸念が頂点に達し、部分的な市場崩壊や急激なリセットが発生する。

4.1 ゴールド: 究極の安全資産へ

予測価格(2035年): \$12,400

ソブリン債務危機が表面化(例: 英国債や日本国債の急落、あるいは米国債の入札不調)すると、ゴールドは「無国籍通貨」としての地位を不動のものとする。

- システミック・リスクの顕在化: 金融機関やソブリン・ウェルス・ファンド(SWF)は、カウンターパーティ・リスクのない資産としてゴールドの保有比率を大幅に引き上げる。
- 価格形成の変化: ドル建て価格の上昇だけでなく、全ての法定通貨に対してゴールドが急騰する。これはゴールドの価値が上がったというより、法定通貨の価値が崩壊していることを意味する。

4.2 ビットコイン: グローバル担保化

予測価格(2035年): \$1,200,000

既存金融システムの動搖を背景に、ビットコインは「デジタル・ゴールド」から「グローバルな担保資

産」へと進化する。

- 決済・清算への利用: 一部の国際貿易や金融取引において、ビットコインが決済の最終手段(ファイナリティ)として利用され始める。Fidelity等の金融機関が提唱してきた「代替投資」としての枠を超えて、ポートフォリオのリスク調整後のリターンを高める必須資産となる²⁹。
- ハイパー・ビットコイン化の兆し: 通貨崩壊に直面した一部の新興国や破綻国家では、国民が自国通貨を放棄し、ビットコインを事実上の基軸通貨として利用し始める。

4.3 AI電力株: SMRの商業化と独占

指数成長予測(2035年): 6.8倍(2025年比)

2035年には、2020年代後半に計画されたSMR(小型モジュール炉)が本格的に稼働し始める。

- Oklo等の成功: OkloやNuScaleといった企業のSMRが、データセンターのオンサイト電源として稼働し、電力網に依存しないAIクラスタが実現する³¹。これにより、電力制約から解放されたAI産業はさらなる成長を遂げ、そのインフラを提供する電力企業の収益性は飛躍的に向上する。
- 原子力への再評価: 脱炭素とエネルギー安全保障の両立のため、原子力が「グリーンエネルギー」として完全に認知され、ESG投資の対象となる。

4.4 新興国株: 資源ナショナリズムの果実

指数成長予測(2035年): 4.1倍(2025年比)

資源価格の高騰(コモディティ・スーパーサイクルのピーク)により、資源輸出国は空前の経常黒字を計上する。

- 富の移転: 先進国から資源国への富の移転が明確になる。ブラジルやインドネシアの株式市場は、資源セクター主導で上昇し、配当利回りも高水準となる。
- インフラ投資: 資源収入を原資とした国内インフラ投資が進み、内需も拡大する好循環に入る。

4.5 日本円: 信認の崩壊とハイパーインフレの淵

予測レート(2035年): 280 JPY/USD(または通貨リセット)

2035年、日本の公的債務は限界を迎える。高齢化による社会保障費の増大と、金利上昇による利払い費の爆発が財政を圧迫する。

- 日銀のバランスシート問題: 国債買い入れを続けた結果、日銀が国債市場のほぼ全量を保有する異常事態となり、市場機能が完全に喪失する³³。円に対する信認が失墜し、国内での円離れ(ドルや仮想通貨への選好)が決定的となる。
- スタグフレーション: 輸入物価の暴騰により、国民生活は困窮する。政府は預金封鎖や新円切り替えなどのドラスティックな措置を検討せざるを得なくなる可能性がある³⁴。

4.6 米国債: インフレによる借金帳消し

予測利回り(2035年): 10年債 5.5%(実質大幅マイナス)

米国は、第二次世界大戦後と同様に、インフレによってGDP比債務残高を圧縮する戦略をとる。

- 実質価値の毀損: 10年間の累積インフレ率が50%を超える一方で、債券保有者のリターンはそれを大きく下回る。これにより、政府の実質債務は減少するが、債権者(国民や外国政府)は実質的なデフォルトを経験することになる。

4.7 シルバー: 戦略物資としての枯渇

予測価格(2035年): \$185

地上在庫がほぼ枯渇し、リサイクル供給だけでは需要を賄えなくなる。

- 戦略的備蓄: 各国政府や巨大テック企業が、銀を「クリティカル・ミネラル(重要鉱物)」として戦略的に備蓄し始める動きが加速する。市場価格はComexの先物価格ではなく、現物のプレミアムによって決定されるようになる。

5. フェーズ3: 2036年～2040年「新通貨秩序の確立」

既存のフィアットシステムがリセットされ、ハードアセットに裏打ちされた新しい金融秩序が形成される時期。

5.1 ゴールド: 新システムのアンカー

予測価格(2040年): \$18,500

新たな国際通貨体制(例えば、多通貨バスケット制度やデジタル通貨同盟)において、ゴールドはその価値の裏付け(アンカー)として正式に組み込まれる可能性がある。18,500ドルという価格は、過去15年間の通貨供給量の膨張を事後的に正当化する水準である。

5.2 ビットコイン: デジタル時代の基軸

予測価格(2040年): \$2,800,000

ビットコインは、インターネットネイティブな価値の保存・移転手段として、完全に成熟する。

- ポラティリティの低下: 時価総額が数十兆ドル規模に達し、価格変動は安定化する。
- 社会的インフラ: エネルギーグリッドの負荷調整や、AI経済圏の通貨として、社会インフラの一部となる。

5.3 AI電力株: 21世紀の石油メジャー

指標成長予測(2040年): 11.0倍(2025年比)

かつての石油メジャー(セブン・シスターズ)のように、AI時代のエネルギーと計算能力を支配する巨大複合企業群が市場を支配する。原子力、核融合(実用化していれば)、およびグリッド管理を統合

した企業が、時価総額上位を独占する。

5.4 新興国株：持続可能な成長へ

指数成長予測(2040年)：6.5倍(2025年比)

資源ブームを経て経済基盤を強化した新興国は、中間層の拡大とともに持続的な成長軌道に乗る。世界のGDPシェアにおいて、G7を凌駕する存在感を持つようになる。

5.5 日本円：再生への道

状態：リセット後の新体制

2040年の日本は、激しい通貨危機を経て、財政規律を回復した（あるいは強制された）新しい通貨体制下にあるだろう。人口減少に適応したコンパクトな経済圏として再出発し、デジタル円を基盤とした効率的な社会システムを構築している可能性がある。旧円建ての資産価値は大きく毀損しているが、社会は安定を取り戻している。

5.6 米国債：正常化への回帰

状態：高金利均衡

インフレによる債務の実質的な縮小が完了し、市場金利は再びプラスの実質利回りを提供するようになる。ただし、ドルの特権的地位は低下し、米国は「普通の国」として財政規律を求められるようになる。

5.7 シルバー：希少貴金属としての定着

予測価格(2040年)：\$320

銀は完全に「貴金属」かつ「ハイテク素材」としての地位を確立し、金銀比価は歴史的な平均値(15-20倍)に向かって収斂する。

6. 定量的成長予測テーブル (Quantitative Forecasts)

以下のテーブルは、本シミュレーションに基づく各資産クラスの価格および指数予測をまとめたものである。価格はすべて名目米ドルベースであり、期間中のインフレを反映している。

Table 1: 資産価格・指数予測 (2025-2040)

資産クラス (Asset Class)	指標 (Metric)	2025年 (Base)	2030年 (Forecast)	2035年 (Forecast)	2040年 (Forecast)	主要ドライバー (Key Driver)

Gold	USD/oz	\$4,232	\$8,850	\$12,400	\$18,500	通貨リセット、中央銀行の備蓄需要、インフレヘッジ
Bitcoin (BTC)	USD/BTC	\$145,000*	\$550,000	\$1,200,000	\$2,800,000	国家採用、半減期による希少化、AI経済圏での利用
Silver	USD/oz	\$55	\$110	\$185	\$320	産業用在庫の枯渇、金銀比価の縮小、太陽光需要
AI電力株	指數 (Rebased)	100	350	680	1,100	データセンター電力需要、SMR商業化、グリッド投資
新興国株(資源)	指數 (Rebased)	100	220	410	650	コモディティ・スーパーサイクル、資源ナショナリズム
USD/JPY	為替レート	155	195	280	Reset / New JPY	金利差拡大、貿易赤字、日銀の信用失墜

米国債 (10年)	名目利回り	4.5%	4.2% (YCC)	5.5% (YCC)	6.0%	金融抑圧による利回り抑制、実質金利マイナス化
--------------	-------	------	---------------	---------------	------	------------------------

注: BTCの2025年価格は、ゴールドの\$4,232への上昇と相関した年末ラリーを想定。

Table 2: 2040年時点の累積リターン比較 (対2025年)

資産クラス	予測倍率 (Nominal)	実質購買力への影響 (Verdict)
Bitcoin	19.3x	世代を超えた富の創出 (Generational Wealth)
AI電力株	11.0x	圧倒的な産業成長 (Structural Growth)
Silver	5.8x	高い実質リターン (High Alpha)
Gold	4.4x	購買力の保全と増大 (Wealth Preservation+)
新興国株	6.5x	インフレに打ち勝つ成長 (Real Growth)
米国債	1.6x (Income)	実質価値の大幅な毀損 (Wealth Destruction)
現金 (JPY)	N/A (Reset)	壊滅的な購買力喪失 (Catastrophic Loss)

7. 資産別詳細分析 (Asset Class Deep Dive)

7.1 Gold: 通貨システムの「炭鉱のカナリア」から「岩盤」へ

2025年の4,232ドルという価格は、Incrementum AGが提示した「インフレシナリオ (M2の9.7%成

長)」に近似する動きである³⁵。この価格帯において、ゴールドはもはや装飾品ではなく、純粋な金融資産として機能する。2030年代には、バーゼルIII規制等により銀行のTier1資本としてのゴールドの重要性が増し、商業銀行レベルでも自己資本の質を保つためにゴールドを積み増す動きが出るだろう。

7.2 Bitcoin: Sカーブの急上昇

VanEckやFidelityの研究が示唆するように、ビットコインが「価値の保存」手段としてゴールドの時価総額の一部を奪うだけで、価格は数百万ドルに達するポテンシャルがある¹⁴。特に、2030年代に予想される国家レベルでの「マイニング(自国のエネルギー資源をビットコインに変える行為)」の競争は、ハッシュレート(採掘速度)を劇的に高め、ネットワークのセキュリティを国家安全保障レベルに引き上げる。これは機関投資家にとっての「投資適格」の最終条件を満たすことになる。

7.3 AI電力株: 物理世界の覇者

Vertiv (VRT) のような冷却・インフラ企業や、Vistra (VST) のような原子力発電事業者は、AIブームの「つるはしとジーンズ」である。McKinseyの予測では、データセンターへの設備投資は2030年までに数兆ドル規模に達する⁶。特にSMR(小型原子炉)技術を持つOkloなどが2030年代に成功すれば、エネルギーコストを劇的に下げつつ安定供給を可能にし、その知的財産権(IP)は計り知れない価値を持つ。

7.4 Silver: 最も過小評価された戦略資産

銀は「貧者の金」と呼ばれるが、2040年に向けては「未来の石油」としての側面が強まる。太陽光パネルの効率化(TOPCon技術等)は銀の消費量を増大させる³⁸。また、EVや5G/6G通信インフラにおける導電性材料としての代替不可能性は、価格弾力性を極めて低くする(価格が上がっても買わざるを得ない)。金銀比価の歴史的平均への回帰は、銀がゴールドをアウトパフォームする最大の根拠である。

7.5 JPY & 米国債: 沈みゆくタイタニック

日本円と米国債のシミュレーション結果は冷酷である。両者とも、膨張した債務を維持するために通貨価値を犠牲にする道を選ぶ。投資家にとっての最大のリスクは、これらの資産を「安全資産」と誤認し続けることである。特に日本円に関しては、キャピタルフライトに備えた資産防衛(外貨、ゴールド、BTCへの分散)が、2025年以降の個人の生存戦略となる。

8. 結論: 行動への指針

2025年末のゴールド価格4,232ドル到達は、世界が「債務の時代」から「実物の時代」へと移行する転換点である。このシミュレーションが示唆するのは、従来の60/40ポートフォリオ(株・債券)の終焉と、それに代わる「ハードアセット・ポートフォリオ」の必要性である。

1. 債券からの脱却: 長期国債は実質リターンがマイナスとなるため、保有を最小限にする。
2. 希少性の確保: ポートフォリオのコアにGoldとBitcoinを据え、通貨減価リスクをヘッジする。
3. エネルギーへの投資: AIの成長を享受するためには、テック株そのものよりも、その物理的基

盤であるAI電力株(原子力・グリッド・冷却)への投資が有効である。

4. 銀の戦略的保有: 産業需要の逼迫と金融的性質の再評価によるアップサイドを狙い、Silverをサテライト的に保有する。

来るべき15年は、準備なき者には過酷なインフレの時代となるが、このパラダイムシフトを理解し、適切な資産配分を行った者にとっては、かつてない富の形成機会となるだろう。

End of Report

引用文献

1. Interest on the Debt to Grow Past \$1 Trillion Next Year, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.crfb.org/blogs/interest-debt-grow-past-1-trillion-next-year>
2. Any Way You Look at It, Interest Costs on the National Debt Will Soon Be at an All-Time High, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.pgpf.org/article/any-way-you-look-at-it-interest-costs-on-the-national-debt-will-soon-be-at-an-all-time-high/>
3. Financial repression past and future | BlackRock, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.blackrock.com/institutions/en-us/insights/thought-leadership/fiscal-repression>
4. How AI Is Transforming Data Centers and Ramping Up Power Demand - Goldman Sachs, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.goldmansachs.com/insights/articles/how-ai-is-transforming-data-centers-and-ramping-up-power-demand>
5. AI/Data Center Power Demand: The 6 Ps driving growth and constraints - Goldman Sachs, 12月 10, 2025にアクセス、
https://www.goldmansachs.com/pdfs/insights/goldman-sachs-research/data-center-power-demand-the-6-ps-driving-growth-and-constraints/redacted_report.pdf
6. The cost of compute: A \$7 trillion race to scale data centers - McKinsey, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.mckinsey.com/industries/technology-media-and-telecommunications/our-insights/the-cost-of-compute-a-7-trillion-dollar-race-to-scale-data-centers>
7. UN warns copper shortage risks slowing global energy and technology shift, 12月 10, 2025にアクセス、<https://news.un.org/en/story/2025/05/1163111>
8. Gold (XAUUSD) & Silver Price Forecast: Gold Stable Above \$4,200, Silver Targets \$61.83, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.fxempire.com/forecasts/article/gold-xauusd-silver-price-forecast-gold-stable-above-4200-silver-targets-61-83-1566618>
9. Silver Soars to Unprecedented Heights as Data Centers and EVs Fuel Industrial Demand, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://markets.financialcontent.com/wral/article/marketminute-2025-12-9-silver-soars-to-unprecedented-heights-as-data-centers-and-evs-fuel-industrial-dem>

nd

10. Monetary Debasement Driving the Current Commodity Super Cycle - Discovery Alert, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://discoveryalert.com.au/monetary-debasement-commodity-supercycle-2025/>
11. All signs point to the early stages of a new “commodity supercycle” – Richard Mills, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://aheadoftheherd.com/all-signs-point-to-the-early-stages-of-a-new-commodity-supercycle-richard-mills/>
12. Gold Price Prediction 2030: Possible Scenarios – Will Gold keep Shining 5 Years from Now? | Hantec Markets, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://hmarkets.com/blog/gold-price-prediction/>
13. Gold to reach \$8900 by 2029? A startling report says so — here's what investors should keep in mind - The Economic Times, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://m.economictimes.com/news/international/us/gold-to-reach-8900-by-2029-a-startling-report-says-so-heres-what-investors-should-keep-in-mind-us-gold-news/articleshow/121414654.cms>
14. U.S. Strategic Bitcoin Reserve vs. Debt Tool | VanEck, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.vaneck.com/us/en/us-bitcoin-strategic-reserve-calculator/>
15. BPI: Nation State Bitcoin Adoption Accelerates Worldwide - Bitbo, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://bitbo.io/news/nation-state-bitcoin-adoption/>
16. VanEck's Crypto AI Revenue Predictions by 2030, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.vaneck.com/it/en/blog/digital-assets/vanecks-crypto-ai-revenue-predictions-by-2030/>
17. VanEck's Crypto AI Revenue Predictions by 2030, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.vaneck.com/us/en/blogs/digital-assets/matthew-sigel-vanecks-crypto-ai-revenue-predictions-by-2030/vanecks-crypto-ai-revenue-predictions-by-2030.pdf>
18. ARK's Price Target For Bitcoin In 2030 - Ark Invest, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.ark-invest.com/articles/valuation-models/arks-bitcoin-price-target-2030>
19. Data Center Trends 2025: Vertiv predicts industry efforts to support, enable, leverage, and regulate AI, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.vertiv.com/en-us/about/news-and-insights/corporate-news/data-center-trends-2025-vertiv-predicts-industry-efforts-to-support-enable--leverage-and-regulate-ai/>
20. Data Centers Embracing Nuclear, SMRs for AI Needs - ETF Trends, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.etftrends.com/disruptive-technology-content-hub/data-centers-embracing-nuclear-smrs-ai-needs/>
21. Vistra Corp. (VST): Powering Growth Amid Energy Transition & AI Surge | Monexa, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.monexa.ai/blog/vistra-corp-vst-powering-growth-amid-energy-transition-VST-2025-06-12>
22. About - Oklo Inc., 12月 10, 2025にアクセス、
<https://oklo.com/about/default.aspx>

23. Oklo reveals 75-MW reactor design, eyes late 2027 commercial deployment | Utility Dive, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.utilitydive.com/news/oklo-75-mw-reactor-design-smr-nuclear/743578/>
24. How Brazil and Chile are leading Latin America's energy transition | World Economic Forum, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.weforum.org/stories/2024/07/brazil-chile-latin-america-energy-transition/>
25. Indonesia - The WEF Nexus Index, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://wefnexusindex.org/idn/>
26. Japan's new fiscal stimulus to target inflation as JGB concerns mount | articles - ING Think, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://think.ing.com/articles/japan-fiscal-stimulus-targets-inflation-jgb-concerns-mount/>
27. The rise in long-term US Treasury yields - Brookings Institution, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.brookings.edu/articles/the-rise-in-long-term-us-treasury-yields/>
28. The Silver Market is on Course for Fifth Successive Structural Market Deficit, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://silverinstitute.org/the-silver-market-is-on-course-for-fifth-successive-structural-market-deficit/>
29. The case for bitcoin | Fidelity Institutional, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://institutional.fidelity.com/advisors/insights/topics/investing-ideas/the-case-for-bitcoin>
30. Bitcoin's Evolving Role as an Alternative Investment - Fidelity Digital Assets, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.fidelitydigitalassets.com/sites/g/files/djuja3256/files/acquiadam/FDA%20Bitcoins%20Evolving%20Role%20as%20an%20Alternative%20Investment%20Oct%2030.pdf>
31. Oklo Breaks Ground at INL for First Aurora Powerhouse SMR - Energy Central, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.energycentral.com/nuclear/post/oklo-breaks-ground-at-inl-for-first-aurora-powerhouse-smr-2izu7Tp0nzRV4La>
32. Oklo Stock Momentum Meets Reality of Long Road to 2027 Commercialization, 12月 10, 2025にアクセス、
<https://www.investing.com/analysis/oklo-stock-momentum-meets-reality-of-long-road-to-2027-commercialization-20066463>
33. (PDF) Japan's Hypothetical Sovereign Default: Domestic Financial Breakdown and International Contagion - ResearchGate, 12月 10, 2025にアクセス、
https://www.researchgate.net/publication/391976793_Japan's_Hypothetical_Sovereign_Default_Domestic_Financial_Breakdown_and_International_Contagion
34. Considering Responses following a Financial Crisis: A Thought Experiment, 12月 10, 2025にアクセス、https://www.nira.or.jp/pdf/e_review48_obata.pdf
35. Gold Price Prediction 2025, 2026 - 2030: Forecast for 5,10 & 20 years | Just2Trade, 12月 10, 2025にアクセス、

<https://j2t.com/solutions/blogview/gold-price-prediction/>

36. Gold price could exceed \$4,800 by 2030: Incrementum AG - MINING.COM, 12月10, 2025にアクセス、
<https://www.mining.com/9000-gold-price-in-5-years-incrementum-ag/>
37. Bitcoin 2050 Valuation Scenarios: Global Medium of Exchange and Reserve Asset | VanEck, 12月10, 2025にアクセス、
<https://www.vaneck.com/corp/en/news-and-insights/blogs/digital-assets/matthew-sigel-bitcoin-2050-valuation-scenarios-global-medium-of-exchange-and-reserve-asset/>
38. Is Now the Best Time to Buy Silver? [Silver 2025–2030 Forecasts] - GoldSilver, 12月10, 2025にアクセス、
<https://goldsilver.com/industry-news/article/is-now-the-best-time-to-buy-silver-silver-2025-2030-forecasts/>